事前申込不要

これからの工事と使い方を知る！

コミセン

再整備・工事計画 オープンミーティング

いつ来ても、
いつ帰ってもOK！
フラっと気軽に
お越しください



11月1日（日） 11:00 ～ 20:00

場所　栄本町コミュニティセンター跡地（池田市栄本町9-1）

- 当日はトイレのご用意がございませんので、あらかじめご了承ください。
- 時間内は入退場自由です。ご都合の良い時間にお気軽にお立ち寄りください。
- お仕事帰りやお買い物の途中でもお気軽にお越しいただけるよう、夜20時まで開場しています
- 近隣にお住まいの方、駅前や商店街をご利用の皆さま、新しい広場の活用に関心のある方など、どなたでも歓迎です。

主催：池田市 都市整備部　都市政策課　企画運営：株式会社乃村工藝社、エイチ・ツー・オーまち元気パートナーズ株式会社お問い合わせ：TEL：072-754-6281（直通）

これからの工事と使い方を知る!

コミセン 再整備・工事計画 オープンミーティング

旧栄本町コミュニティセンター跡地が、新しい「まちなか広場」へと生まれ変わります。「どんな施設になるの?」「工事はいつ頃から始まるの?」「どんな使い方ができるの?」　新しい施設の模型や図面を見ながら、これからの計画を気軽にご確認いただけるオープンミーティングを開催します。

いつ来ても、いつ帰ってもOK!
フラっと気軽にお越しください!

今後のスケジュール

設計の取りまとめ 計画説明
令和8年 秋（現在）

>

解体 改修工事
令和 8年 12月頃～

>

工事完了 オープン(予定)
令和10年 春頃

当日の内容

1 新しい施設の「完成イメージ模型」を展示

既存建物を活かして上層階をすっきりと減築し、天候を気にせず過ごせる屋根付き広場「ウチニワ」を備えた新しい外観・空間の模型を公開します。

昨年度の「コミセン井戸端会議」から、ここが変わりました!(計画の変更ポイント)

解体時の施工性や既存建物への影響などを踏まえ、3階床等を残す計画から、南側の大屋根と2階キャットウォークを残す計画へ変更しました。これにより、既存建物をより有効に活用しながら、解体範囲を縮小しています。当日は、模型や図面を使って変更点を分かりやすくご紹介します。



2 工事の予定と今後のスケジュールをご説明

工事がいつ始まり、いつ頃完成・オープンするのか、工事期間中の安全対策や周辺環境への配慮事項などをパネルでご説明します。

※工事の開始時期や工程等の詳細が確定しましたら、改めて近隣にお住まいの皆さまへお知らせを配布する予定です。



3 これからの「使い方」を一緒にイメージ

普段の休憩や待合、マルシェやポップアップショップ、地域や大学・企業による社会実験など、新しい広場でできる多彩な使い方をご紹介します。当日はスタッフが常駐していますので、質問や「こんな風に使ってみたい!」というご意見もお気軽にお聞かせください。

例えば、こんな使い方をイメージしています

日常の憩い・滞在の場
お買い物やお散歩の途中にひと休みしたり、待ち合わせをしたり。予約なしでふらっと立ち寄り、思い思いに過ごせる場所を目指します。



催し・マルシェ・チャレンジの場
マルシェや物販、キッチンカー、イベント、ポップアップショップなど、さまざまな活動や新しいチャレンジを受け止める場所として活用します。



官民連携・地域連携の場
地域の皆さんをはじめ、大学や民間企業などと連携した社会実験やワークショップ、情報発信など、新しい活動やつながりが生まれる場所を目指します。



栄本町コミュニティセンター跡地再整備について

整備の目的

池田駅北側の回遊・滞在を生み出す「全天候型のまちなか広場」へ

阪急池田駅から商店街・さくら通りを抜け、五月山へと続く結節点に位置する旧コミセン跡地。既存建物を活かしながら、天候に左右されず、多様な人が日常的に集い、憩い、活動できる「まちなか広場」として再整備します。池田駅から商店街、五月山方面への回遊や滞在を生み出し、駅北側エリア全体のにぎわいにつなげることを目指しています。



「市民活動交流センター」との違いについて

旧コミセンの「貸館(会議室等)機能」は市民活動交流センターへ集約されています。新施設は貸室を中心とした施設ではなく、日常的な滞在や交流、催し、チャレンジなど、多様な使い方を受け止める「開かれたまちなか広場」として整備します。

過年度に実施した主な取り組み

コミセン跡地周辺の利活用ワークショップ・アンケート(令和5年度)

コミセン跡地周辺の課題や「したいこと・ほしいもの」を出し合い、この場所に求められる機能や使い方について、市民の皆さんと検討しました。



「IKEDA こどもの学校」(令和6年度)

子どもたちの体験イベントを実施し、この場所が持つ集客のポテンシャルや、地域・企業等と連携した活用の可能性を検証しました。



「観る・知る・創る IKEDA」(令和6年度)

アートを通じてまちの魅力を再発見するとともに、市民の皆さんがこの場所やまちづくりに関わるきっかけづくりと、継続的な活動の可能性を検証しました。



※制作したウォールアートは減築後の外壁等への継承を予定しています。

コミセン井戸端会議(令和7年度)

整備イメージを市民の皆さんと共有し、「ここでこんなことをしてみたい」といった意見をいただきながら、具体的な使い方や整備の方向性について意見交換を行いました。

